

私たちの道

MC WAY を感じる

～ 視座を高める ～

1. 今までを振り返って

- ・一番成長を実感できるのは、自身の考え方や価値観が変わったと感じる瞬間。
- ・ただ自分自身、(当時は真逆の感覚でしたが、)視座が高められていない期間が長く、「視野」「視座」「視点」の中で、「視座」を高める事が最も難易度が高いと痛感。

〈自己分析〉

- 視座が上がらなかった時期①: 自分本位・個人優先で仕事をしていたとき
- 視座が上がらなかった時期②: 愚痴や不満が多く、塞ぎ込んでいたとき
- 視座が高まったと感じた時期①: 自分自身の考え方に疑問を抱き、考え方を変えたとき
- 視座が高まったと感じた時期②: 一つ上の役割を経験することが出来たとき

2. 視座に関する気付き

- ① 自分の中でポジティブ(順調)な時ほど、実は視座は上がりにくい
 - ※ 自分の考え方を必要を感じにくい状態では、なかなか視座は上がらない
- ② 「ネガティブ」な状態を受け止め、乗り越えるプロセスで、視座が上がっていく
 - ※ 違和感がある状態をそのまま放置しない、自分の中で終わらせない
 - ※ 自分自身の視座が影響していることが多く、そこに大きな成長のヒントがある
- ③ 視座は一人では高めることが出来ない。
 - 自身の(低い)視座を受け止め、向き合ってくれる良き相談者の存在が必須
 - ※ 対話を通じて相談者の視座を学ぶことで、自身の視座に疑問を抱くキッカケに
- ④ 自分自身の視座(現在の考え方)を素直に伝えてみる事がスタートライン
 - ※ 今の自分自身を受け止め、低い視座をぶつける・自己開示する勇気をもつ
- ⑤ 自分の役割やポジションを、自身の中で一つ上に置いてみる・飛び込んでみる
 - ※ 年齢や役職などを気にせず、一つ上の視座を経験してみる事で気付くことも多い
- ⑥ 視座を高めることに終わりはなく、「今の自分に見えていない事の方が圧倒的に多い」という自己認識を持っておくことが大切。(私もまだまだ模索中…)
 - ※ 人の意見を受け止める。自分自身に見えていない世界は必ず存在する
 - ※ 違和感を感じさせてくれる人/考えを紐解いてくれる人の両方の存在が必要